

# 教養教育院大地震対応マニュアル

『教養教育院では、年間を通して防災訓練を実施します』

近い将来、東海地方に大地震が発生した場合には、全学教育棟で授業を受けている2千人余りの学生が安全かつ迅速に屋外に避難することが必要となります。

教養教育院では、地震をはじめ、不意に発生する災害等に備え、非常時に学生や教職員が冷静かつ適切な判断や指示ができ、避難時の対応が安全かつ速やかにできることを目的に、年間を通して全学教育棟における防災訓練、避難・誘導訓練等を計画・実施しています。

この教養教育院における取り組みについてご理解いただき、訓練の実施にご協力願います。

教養教育院長

**名古屋大学ポータルに緊急連絡用メールアドレスを登録してください！**

## 名古屋大学安否確認システム

災害時には安否情報を大学へ伝えてください！  
登録のメールアドレスに大学からメールが届きますので、案内に従って安否情報を入力してください。

## 教養教育院大地震対応マニュアル(全学教育棟)

### 《 名古屋大学緊急地震速報システム 》

東山キャンパスで**震度5弱以上が予想**されるときに、地震による強い揺れが起こる数十～数秒前に警報が発せられます。

#### 緊急地震速報

放送メッセージが流れます。

- ・NHKチャイム音につづき、「**身の安全を確保してください。**」



#### 緊急地震速報を聞いたら

強い揺れが起きるまでの時間は限られています。倒壊や破損しやすいものから離れるなど、身の安全を図るための最低限の行動を取ってください。

火を消す

出入り口の確保

安全姿勢

(講義室) 机・イスが床に固定されている場合は、イスに座ったまま机につかまる。  
固定されていない場合は、とにかく頭を守る。  
(階 段) 踊り場へ出て安全姿勢。



#### 地震発生せず

速報の後、しばらくしても地震が来ない場合は誤報の可能性もあるが、テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を集め、**正式な発表があるまで警戒を解かない**てください。

#### 地震発生

『地震発生時初動マニュアル』

(次ページへ)

## 地震発生時 初動マニュアル(全学教育棟)

### 地震発生

- ① **まず、身を守る！**  
バッグ、教科書などで落下物から頭を守り、揺れが収まるのを静かに待ってください。
- ② **非常脱出口の確保！**  
余裕があれば、ドア付近にいる人は、出入り口の扉を開け通路を確保してください。
- ③ **素早く火の始末！**  
実験中など火気を使っているときは、火を消す。薬品などから離れる。



### 地震発生後 1～2分（揺れが収まったら）

- ① **周囲の安全を確認！**  
倒れた棚等の下敷きになっている人がいないかを確認してください。けが人の有無を確認してください。
- ② **建物の状況を確認！**  
建物が傾いていないか、壁にヒビが入ったり崩れたりしていないかなどを確認してください。
- ③ **作動中の実験器具等の停止！**
- ④ **火災の状況を確認！**  
火災が起きた場合、自分の身が安全な範囲で、落ち着いて**初期消火**してください。



### 地震発生後 3分

- ① **隣接する部屋で助け合う！**  
他の部屋・教室等で倒れた棚等の下敷きになっている人がいないか確認してください。
- ② **余震に注意！**  
建物の状況により、余震で崩壊する恐れのある場合は、大学指定の避難場所（中央図書館西側グラウンド）に避難してください。

## 避難が必要な場合

建物の状況により、避難が必要と判断された場合は館内放送等により避難指示が出されますが、館内放送等が無くても状況により担当教員が避難することが必要と判断することもあります。

## 避 難

担当教員の指示に従い避難してください。  
日頃、教室から非常口までのルートを確認しておいてください。

- ① 落ち着いて避難してください。
- ② 障がい者の優先避難を支援してください。  
※ 車椅子を利用している障がい者の避難の方法など、日頃から周りの人が意識していることが大切です。
- ③ 大きな荷物は所持しないで避難してください。
- ④ エレベーターの利用は禁止となります。
- ⑤ 避難の途中で立ち止まらないようにしてください。
- ⑥ 『おはしも』を実践してください。  
おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない



## 確 認（教員が対応）

- ① 全員の教室退避を確認。
- ② 隣接する教室の避難状況を確認。
- ③ トイレの中を確認。

一次避難場所へ誘導（教員が対応）

## 一 時 待 機

- ① 屋外に出たら、指定の一次避難場所で待機してください。
- ② 安全が確認できるまで教室には戻らないでください。
- ③ 余震により外壁等が落下する恐れがありますので、建物から十分な距離を置いてください。
- ④ 大学からの案内・指示に従ってください。